

3L021/4L021 景観文化財学

2019年度 第3・4Q 月曜3限 菊地真 先生




キーワード: 文化財 博物館 現地保存 景観文化財 エコミュージアム 野外博物館 史跡 町並み保存

このリストに掲載されている資料は、主に**人文科学図書館 KULiPコーナー**に配架してあります。

※一部学内他館のみで所蔵しているものについては
[]内の「B」から始まる英数字をOPACに入力すると、該当資料のみを検索できます。

- [文化的景観：生活となりわいの物語 / 金田章裕著 日本経済新聞出版社, 2012.](#)

文化的景観は日本の文化財の新しい概念です。生活と生業を物語る景観をどう捉え、守るか。地理学者の問いかけ。




[290-13-KIN]
- [遺跡保存の事典 / 文化財保存全国協議会編【新版】平凡社, 2006.](#)

埋蔵文化財＝遺跡は発掘報道で知られますが、実は殆どが破壊されています。人類の遺産である遺跡をいかに保存するかを考えます。




[210-2-ISE]
- [文化財保存70年の歴史：明日への文化遺産 / 文化財保存全国協議会編 新泉社, 2017.](#)

特に遺跡に焦点をあて、戦後70年にわたる保存運動のあゆみを総括し、今後を展望します。



[709-1-BUN]
- [歴史的遺産の保存・活用とまちづくり / 大河直躬, 三船康道編著; 梅津章子 \[ほか\] 著【改訂版】学芸出版社, 2006.](#)

歴史的遺産の保存から活用、まちづくりを考えます。法制度、アメリカや日本の実践例、都市計画での位置付けなど。



[521-86-REK]
- [歴史的遺産の保護 / 加藤一郎, 野村好弘編 信山社, 1997.](#)

文化遺産を守る手法とは。法律学の立場から、歴史保全活動が盛んなアメリカを中心に、日本やアジア太平洋諸国の法制度の現状と問題点を明らかに。




[709-1-REK]

文化財

- [「陵墓」からみた日本史 / 日本史研究会, 京都民科歴史部会編 青木書店, 1995.](#)

時代は「陵墓」とどう向き合ってきたか。古代から現在まで、忘れられたり、修復された「陵墓」の歴史を通して天皇制を見つめます。



[288-46-RYO]

- [「陵墓」を考える：陵墓公開運動の30年 / 「陵墓限定公開」30周年記念シンポジウム実行委員会編 新泉社, 2012.](#)

多くの古墳が陵墓として立ち入りすら厳禁されています。戦後の公開要求運動から、天皇陵をめぐる問題をまとめます。



[288-46-RYO]
- [アジアにおける文化遺産の保存と救済 シルクロード学研究中心, 1995.](#)

アジアの文化遺産の保護を議論するシンポジウム。アンコール遺跡を主に取り上げる。



[709-0-AZI]
- [イスラームと文化財 / 野口淳, 安倍雅史編著 新泉社, 2015.](#)

地域紛争が止まないイスラーム圏の諸国では、文化財もまた危機にさらされています。現地の文化財の実情と、保護・活用に尽力する取り組み。



[709-28-ISU]
- [遺跡保護行政とその担い手 / 須田英一著 同成社, 2014.](#)

近現代に遺跡保護に携わった人々をとりあげ、地域社会や文化財政策の歴史と絡めて紹介し、遺跡保護の有り様について考えます。



[709-1-SUD]
- [遺跡保護の制度と行政 / 和田勝彦著 同成社, 2015.](#)

文化庁で行政実務に携わった著者が、遺跡保護行政の歴史と制度、法解釈を詳しく解説。実務にも役立つ。



[709-1-WAD]
- [近代日本の史蹟保存事業とアカデミズム / 齋藤智志著 法政大学出版局, 2015.](#)

近代に文化財がどう認識され、顕彰されてきたか。歴史学や考古学が、ナショナリズムやアイデンティティ形成に寄与した実態を示します。



[709-1-SAI]
- [古代地方木簡のパイオニア：伊場遺跡 / 鈴木敏則著 新泉社, 2018.](#)

伊場遺跡は、地方ではじめて100点を超す木簡が出土した遺跡。調査成果から、律令制下の地方社会に迫ります。



[210-2-SUZ]
- [コロニアリズムと文化財：近代日本と朝鮮から考える / 荒井信一著 岩波書店, 2012.](#)

地域や民族の歴史を物語る文化財は誰のものか。近代のナショナリズムと支配や略奪の経緯をたどり、人類の遺産としてのあり方を考える。



[BB0971756X]

※総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館で所蔵

- [中東欧の文化遺産への招待：ポーランド・チェコ・旧東ドイツを歩く / 四方田雅史, 加藤裕治編著 青弓社, 2018.](#) 
中世都市や炭鉱、工場、強制収容所跡など、中東欧の文化遺産を、歴史・社会的背景や観光との関わりと合わせて紹介。
[293-49-TYU]
- [ヒトと環境と文化遺産：21世紀に何を伝えるか / 網野善彦, 後藤宗俊, 飯沼賢司編 山川出版社, 2000.](#) 
人間と文化財、自然環境の保存を問う。現代社会における文化遺産保護の日本や海外の例から課題を考えます。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA45719663]
- [吉野ヶ里：遺跡はこうして残った / 山崎義次著 文芸社, 2016.](#) 
地域にとって貴重な遺跡が、ある日、跡形もなく無くなっている時がある。消滅の危機が幾度もあった吉野ヶ里遺跡の保存の記憶。
[210-2-YAM]
- [よみがえる鉄道文化財：小さなアクションが守る大きな遺産 / 笹田昌宏著 交通新聞社, 2015.](#) 
廃棄物として処分されかけた鉄道文化財が、市民の手で救い出され、守られた事例を紹介。
※海事科学分館で所蔵 [BB18494262]
- [歴史保存と伊場遺跡 / 椎名慎太郎, 遠江考古学研究会編 三省堂, 1987.](#) 
一度なされた文化財指定を取り消し、開発に供された唯一の文化財、伊場遺跡。その経過を振り返って、歴史保存の重要性を問う。
[210-2-REK]
- [歴史を保存する / 椎名慎太郎著 講談社, 1983.](#) 
地域の歴史をどう守り伝えるか。時代の変化や開発の流れに押され、現場で模索する姿から、文化遺産の保存を考える。
[709-1-SII]
- [遺跡が消える：研究と保存運動の現場から / 歴史学研究会編集 青木書店, 1991.](#) 
遺跡が開発によって次々と消えていく。保存運動と研究が一体となった現場の取り組みをまとめる。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BN06822336]
- [遺跡保存を考える / 椎名慎太郎著 岩波書店, 1994.](#) 
多くの遺跡が開発の波にのまれて消滅している。現場で苦悩する人びとを描き、歴史的環境のなかで生きる方策を探ります。
※総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館 他で所蔵 [BN10207066]

- [海洋考古学入門：方法と実践 / 木村淳, 小野林太郎, 丸山真史編著 東海大学出版部, 2018.](#) 
海をめぐる考古学研究を総覧。水中遺産・沈没船から、島嶼・海民や海産物利用まで、考古学から復元する海と人。
※自然科学系図書館で所蔵 [BB26066548]
- [吉野ヶ里遺跡：保存と活用への道 / 納富敏雄著 吉川弘文館, 1997.](#) 
九州を代表する弥生遺跡、吉野ヶ里遺跡の保存、整備と地域活性化の流れをたどります。
[208-0-REK]
- [近代古墳保存行政の研究 / 尾谷雅比古著 思文閣出版, 2014.](#) 
近代日本で古墳を行政がどう取り扱ってきたか。国家理念や施策を背景とした、文化財行政の変遷をあとづける。
[709-1-OTA]
- [激動の埋蔵文化財行政 / 高橋一夫, 岸本雅敏, 佐久間豊編 ニュー・サイエンス社, 2002.](#) 
行政が社会経済の影響を受け、遺跡保存の根本が揺らいでいる。様々な立場から文化財行政の一端を追っています。
[210-2-GEK]
- [考古学と化学をむすぶ / 馬淵久夫, 富永健編 東京大学出版会, 2000.](#) 
理化学的手法を考古学に応用して得られる数々の成果。年代、産地、食性など、考古学と化学の共同研究を紹介。
[202-5-KOK]
- [考古学のための法律 / 久末弥生著 日本評論社, 2017.](#) 
遺跡の発掘や遺物の取り扱いに関する事項を平易に解説。さらに活用や諸外国の法律との対比をしています。
[202-5-HIS]
- [最新改正文化財保護法 / 文化財保護法研究会編著 ぎょうせい, 2006.](#) 
文化的景観が新たに加わった2005年改正施行を受けた、文化財保護法を紹介。
※社会科学系図書館で所蔵 [BA76915531]
- [史跡保存の軌跡：その苦闘の記録 / 平野邦雄著 吉川弘文館, 2004.](#) 
文化庁で直面した史跡破壊をめぐる事例から、史跡の理念と学問の責任を明らかにし、史跡保存に指針を示す。
[210-2-HIR]

- [市民による文化財保護を：松田のおばさん奮闘記 / 松田常子著 サンライズ出版, 2006.](#) 
滋賀で長年、文化遺産の保護運動に携わった松田さんの活動をまとめ、市民のための保存活用実践記です。
[709-161-MAT]
- [市民参加型調査が文化を変える：野尻湖発掘の文化資源学的考察 / 土屋正臣著 = Regional culture is changed by the research with citizen participation : cultural resources studies of Nojiri-ko excavation / Masaomi Tsuchiya 美学出版, 2017.](#) 
長野県野尻湖の市民参加型発掘調査を事例に、市民の学び・知的探究と、地域に密着したフィールドワークが、共同して文化遺産の保全を導いてきた過程を丁寧に復元。
[709-1-TUT]
- [消滅遺産：もう見られない世界の偉大な建造物 / ナショナルジオグラフィック編 日経ナショナルジオグラフィック社, 2018.](#) 
バーミヤンの石仏など、近年の争乱などで失われた文化遺産を紹介し、住民の、人類にとっての遺産保護を考える。
[520-8-SYO]
- [人類の歴史を護れ：戦中・戦後における文化遺産の保護と国際協力 / 西浦忠輝編集, 2005.](#) 
戦争など国内情勢のため保護が進まない文化財を、どう守っていくか。イラク、アフガニスタン、インドネシア各国の事例をみる。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA74382097]
- [水の中からよみがえる歴史：水中考古学最前線：文化交流展特別展示 / 九州国立博物館編 九州国立博物館, 2017.](#) 
水中に眠る、水中文化遺産。日本列島の代表的な事例から、歴史を復元した展示の記録。
[202-5-MIZ]
- [水中文化遺産：海から蘇る歴史 / 林田憲三編 勉誠出版, 2017.](#) 
水中に眠る、水中文化遺産の研究が進展しています。出土品が物語る交流の歴史など、研究の最前線を伝えます。
※海事科学分館で所蔵 [BB23969813]
- [世界遺産：ユネスコ事務局長は訴える / 松浦晃一郎著, 2008.](#) 
世界遺産をどのように守れば良いのか。ユネスコの現場体験から語る。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA86474705]

- [世界遺産が消えてゆく / 中村俊介著 千倉書房, 2006.](#) 
国内外の文化財保護の現場を取材した経験から、世界遺産ブームや文化財保護政策の問題点を指摘。
※海事科学分館で所蔵 [BA79788190]
- [世界遺産と天皇陵古墳を問う / 今尾文昭, 高木博志編 思文閣出版, 2017.](#) 
百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の活動が広がるが、肝心の古墳の呼び方は、関係者により違うのは何故か？天皇陵の諸問題を広く問いかける
[288-46-SEK]
- [世界遺産パルミラ破壊の現場から：シリア紛争と文化遺産 / 西藤清秀, 安倍雅史, 間舎裕生編 雄山閣, 2017.](#) 
紛争で破壊されたパルミラ遺跡。文化遺産の現状をたどり、シリアと文化遺産の復興への課題を見つめます。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB25125812]
- [世界遺産を平和の砦に：武力紛争から文化を守るハーグ条約 / 高橋暁著 すすさわ書店, 2010.](#) 
世界遺産条約の目的は経済振興ではなく、国家・民族・宗教等の対立を超えた平和の実現にある。武力紛争後の文化復興に文化財が果たす役割を語る。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB04310940]
- [世界遺産学を学ぶ人のために / 奈良大学文学部世界遺産を考える会編 世界思想社, 2000.](#) 
世界遺産を学問として総合的に調査・研究・保存する手法を探ります。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA48779399]
- [世界文化遺産の思想 / 西村幸夫, 本中眞編 東京大学出版会, 2017.](#) 
世界文化遺産の理念・歴史・制度を解説し、現場の課題や取り組みを紹介しています。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB24358564]
- [精説文化財保護法 / 椎名慎太郎著 新日本法規出版, 1977.](#) 
1975年に現在の形を整えた文化財保護法の内容を、現場での適用を念頭に精緻に解説しています。
※海事科学分館で所蔵 [BN01118963]
- [戦争遺跡は語る / 戦争遺跡保存全国ネットワーク編 カモガワ出版, 1999.](#) 
近代の戦争を語る証拠、戦争遺跡。保存を通じて見えてくる、人類の戦争と平和への尊い教訓について考えます。
[210-7-SEN]

- [探訪ハンドブック / 野呂肖生執筆 ; 石井進監修 山川出版社, 2001.](#) 
文化財を見学する時のガイド。1巻は文化財保護の概要や豆知識。続巻で考古学・寺社・町並み・城・庭園・石造物・仏像・陶磁器・古文書・史跡を網羅。
人文科学図書館開架室 [291-08-BUN//1]
- [天皇陵と近代 : 地域の中の大友皇子伝説 / 宮間純一著 平凡社, 2018.](#) 
大友皇子の墓は明治期に定められますが、滋賀県・千葉県で治定運動の長い対立がありました。天皇陵と地域の関わりを近代に読み解く。
人文科学図書館書庫 [288-46-MIY]
- [天皇陵の解明 : 閉ざされた「陵墓」古墳 / 今井堯著 新泉社, 2009.](#) 
古代国家形成解明の鍵をにぎる、巨大古墳の多くは天皇陵で、研究者すら立ち入れません。「陵墓」古墳の実像を明らかにします。
[288-46-IMA]
- [難波宮跡の保存と裁判 / 難波宮跡訴訟記録保存会編 第一法規出版, 1980.](#) 
大阪の都市開発から古代の難波宮跡が保存されるまでの動きを、特に裁判に重点を置いて整理しています。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BN08355730]
- [日本とフランスの遺跡保護 : 考古学と法・行政・市民運動 / 稲田孝司著 岩波書店, 2014.](#) 
日本とフランスの考古学事情を、法律、行政、市民活動について対比的に見ながら、遺跡保護のあり方を考察する。
[202-5-INA]
- [日本の史跡 : 保護の制度と行政 / 仲野浩編, 2004.](#) 
文化財保護法に基づいた行政的な実施プロセス、実例と課題を取りあげ、史跡のあり方を具体的に示しています。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA69584707]
- [発掘を科学する / 田中琢, 佐原真編 岩波書店, 1994.](#) 
今日、考古学研究ではさまざまな科学的手法が応用されています。遺跡・遺物の科学研究成果を平易に紹介。
※総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館 他で所蔵 [BN11444690]
- [発掘調査のてびき / 文化庁文化財部記念物課編 文化庁文化財部記念物課, 2010-2013.](#) 
遺跡を地中から掘り出す技術・知識とは。発掘調査、整理、報告書作成までのノウハウを解説。
人文科学図書館書庫 [210-02-HAK]

- [煩悶する若き考古技師：高度経済成長期・埋蔵文化財行政の苦悩と池上曽根遺跡一ウラの遺跡保存運動 / 秋山浩三, 井藤徹, 池上曽根遺跡史研究会編著 京都三星出版, 2007.](#) 
大阪平野の弥生時代遺跡として著名な池上曽根遺跡。高度経済成長期に発見され、保存されるまでの困難な過程を記録する。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA83715601]
- [文化遺産の危機と保存運動 / 文化財保存全国協議会編集 青木書店, 1971.](#) 
遺跡など文化遺産が、高度経済成長の陰で破壊されてきた状況を訴え、保存運動の重要性を語ります。
※人間科学図書館で所蔵 [BN08101619]
- [文化遺産の保存と環境 / 石澤良昭編 朝倉書店, 1995.](#) 
文化遺産を具体的にどう保存し、周辺的环境や住民生活とすり合わせていくのか。アンケートの事例報告。
[208-0-KOZ]
- [文化遺産の保存と国際協力 / 河野靖著, 1995.](#) 
民族や宗教、開発や環境という課題の中で育んだユネスコの保存理念を、アジアと欧米の文化観の相違などを交えてまとめる。
※自然科学系図書館で所蔵 [BN12723033]
- [文化遺産はだれのものか：トルコ・アナトリア諸文明の遺物をめぐる所有と保護 / 田中英資著 春風社, 2017.](#) 
過去の痕跡はどうやって、国や民族、あるいは人類の文化遺産となるのか。トルコの遺物をめぐる言説から、文化遺産概念を問い直す。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB23576490]
- [文化協力における民族と国家【総合研究開発機構】総合研究開発機構, 1995.](#) 
国際社会による文化協力を調査。文化遺産保存事業を発展途上国の文化的な発展に結びつける等の課題を提言。
※社会科学系図書館、経済経営研究所図書館で所蔵 [BN12997742]
- [文化財/文化遺産としての民俗芸能：無形文化遺産時代の研究と保護 / 俵木悟著 勉誠出版, 2018.](#) 
無形文化遺産すなわち民俗芸能は、人間生活とともに常に変化する。祭りや芸能がいかに文化財となるか、保護の意義や研究課題を示す。
[386-8-HYO]

- [文化財と近代日本 / 鈴木良, 高木博志編 山川出版社, 2002.](#)
陵墓、神話、戦争展示など、日本における文化財の位置づけを近代史の視点からとらえています。

[709-1-BUN]
- [文化財の社会史 : 近現代史と伝統文化の変遷 / 森本和男著 彩流社, 2010.](#)
文化財が近代日本が成立していくなかで、どのように認識され、扱われてきたのかを探る。

[709-1-MOR]
- [文化財政策概論 : 文化遺産保護の新たな展開に向けて / 川村恒明監修・著 ; 根木昭, 和田勝彦編著 東海大学出版会, 2002.](#)
文化財政策は保存と活用の両面で、新たな理念、枠組みの再構築を迫られています。政策面から「文化財保護」の実態を分析しています。

[709-0-BUN]
- [文化財保護の実務 / 児玉幸多, 仲野浩編 柏書房, 1979.](#)
各文化財の内容、指定の課題、保存活用の方法を関係者が内側から解説し、問題提起する。今も色あせない入門書。


[709-0-B]
- [民俗文化財 : 保護行政の現場から / 鹿谷勲, 長谷川嘉和, 樋口昭編 岩田書院, 2007.](#)
民俗文化財について、基本理念、実際の記憶や保護の方法、世界無形文化遺産との関係などを実例から網羅します。
※総合・国際文化学図書館で所蔵


[BA83716386]
- [無形文化遺産とは何か : ユネスコの無形文化遺産を新たな視点で解説する / 七海ゆみ子著 彩流社, 2012.](#)
無形文化遺産とは何でしょうか？登場の背景、条約のしくみなど、他の世界遺産と比べながら詳細に解説。
※社会科学系図書館で所蔵

[BB08234560]
- [掠奪されたメソポタミア / ローレンス・ロスフィールド著 NHK出版, 2016.](#)
アメリカなどが侵攻したイラク戦争。国立博物館の貴重な文化遺産はなぜ略奪されたのか。戦争の陰を明かし、文化遺産保護の教訓を示します。


[709-281-ROT]
- [陵墓と文化財の近代 / 高木博志著 山川出版社, 2010.](#)
古墳は天皇制の下で一部が陵墓に指定され、文化財保護と切り離されてきた。文化財が近代にどう扱われたかの歴史。


[210-08-NIH]


- [歴史\(れきし\)のなかの天皇陵\(てんのうりょう\) / 高木博志, 山田邦和編 思文閣出版, 2010.](#) 
- 天皇陵がどのように比定され取り扱われてきたか、歴史学の立場から考察しています。
- ※総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館で所蔵 [BB03671284]


- [歴史的環境：保存と再生 / 木原啓吉著 岩波書店, 1982.](#) 
- 世界・日本の文化遺産保全運動と関連する政策の歴史を整理し、成果と課題を堅実な理論を背景に述べる。歴史的環境を知る格好の教科書。
- ※総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館 他で所蔵 [BN00573840]


自然

- [アメリカの環境主義：環境思想の歴史的アンソロジー / R.F.ナッシュ編著；栗栖聡, 藤川賢, 川島耕司共訳 同友館, 2004.](#) 
- アメリカにおける環境保護運動の歴史をひもとき、現代の環境主義思想の展開を説く。自然保護思想などの考えを一望できる。
- [519-853-AME]

- [失われた北川湿地：なぜ奇跡の谷戸は埋められたのか? / 三浦・三戸自然環境保全連絡会編 サイエントリスト社, 2015.](#) 
- 多くの希少種が存在した、神奈川県最大規模の湿地が埋め立てられた。環境破壊反対の記録に留まらず、自然保護のエコパーク構想をも提示。
- [519-813-MIU]

- [コモンズ訴訟と環境保全：入会裁判の現場から / 中尾英俊, 江淵武彦編 法律文化社, 2015.](#) 
- コモンズ論で入会権が評価されています。入会地の紛争事例から、環境保全機能の実態を明らかにしています。
- ※社会科学系図書館で所蔵 [BB20177841]

- [ジオツーリズムとエコツーリズム / 深見聡著 古今書院, 2014.](#) 
- ジオパーク、エコパークの定義と背景を踏まえ、自然環境を活かした観光まちづくりのあり方を事例から学ぶ。
- ※人間科学図書館で所蔵 [BB17118651]

- [ジオパークを楽しむ本：日本列島ジオサイト地質百選 / 全国地質調査業協会連合会, 地質情報整備活用機構, ジオ多様性研究会共編 オーム社, 2013.](#) 
- ジオパークのガイドブック。各地で見られる地質の特徴を、写真と地質図・景観写真によってわかりやすく解説。
- ※自然科学系図書館で所蔵 [BB13881090]

- [ナチスと自然保護：景観美・アウトバーン・森林と狩猟 / フランク・ユケッター著；和田佐規子訳 築地書館, 2015.](#) 
急速に工業・都市化したドイツで、人々は自然の荒廃に立ち向かい、ヨーロッパで先進・画期的な法律とされる帝国自然保護法を勝ち取ります。ナチス時代の自然保護の実像。
※総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館で所蔵 [BB1913830X]
- [自然保護の法と戦略 / 山村恒年著【第2版】有斐閣, 1994.](#) 
失われてゆく自然を引き継ぐために、私たちはどうすべきか。国際動向もふまえ、自然と法と人間のかかわり方を説く。
[519-8-YAM]
- [自然保護学入門：ひとと自然をつなぐ / 筑波大学自然保護寄附講座編【筑波大学出版会】筑波大学出版会, 2018.](#) 
自然保護の概念、法制度、野生生物、エコツーリズムといったテーマに分け、自然保護とは何か、全体像を示す。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB25952946]
- [世界自然遺産で見る地球46億年：図解 / 目代邦康監修 実務教育出版, 2017.](#) 
地球史を、グランド・キャニオン、ハワイ火山国立公園など20例でたどる。世界自然遺産の価値がよく分かります。
※自然科学系図書館で所蔵 [BB22963607]
- [探訪ひょうごの天然記念物 / 須田京介文；北村泰生写真 神戸新聞総合出版センター, 1998.](#) 
兵庫県下の国指定・県指定の天然記念物を訪ね、カラー写真で紹介。貴重な自然遺産のガイドブック
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA43966457]
- [日本の天然記念物：自然紀行 講談社, 2003.](#) 
2003年現在の、国指定の天然記念物を収録。都道府県別に植物、動物、地質・鉱物を解説しています。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA62731993]
- [日本史と環境：人と自然 / 平川南編 吉川弘文館, 2012.](#) 
日本列島の自然環境を復元しつつ、自然観や環境観が歴史的にどう変遷してきたかをたどる。全5巻で古代－現代を網羅。
[210-04-KAN]
- [歩く、見る、聞く人びとの自然再生 / 宮内泰介著 岩波書店, 2017.](#) 
自然再生に携わる人びとを訪ね、利害対立を話し合いで乗り越え、時に人の手を加えて自然を再生する様相を丁寧に描く。
※総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館 他で所蔵 [BB23123973]

建造物

- [芦屋の和洋館よとわに：阪神間モダニズムの興亡と継承 / 福嶋忠嗣著；芦屋洋館建築研究会編 濤標, 2015.](#) 
- 住宅地で知られる芦屋には、近代の和洋館が沢山ありました。消えゆく建物を惜しみ、その建築を記録しています。
- [521-8-FUK]
- [ヴォーリズ六甲山荘物語 / 清水彬久\[ほか\]編 アメニティ2000協会, 2012.](#) 
- 阪神間にはいくつもの洋風建築が残され、ヴォーリズが建てた六甲山荘もその一つです。近代にレジャーの地として発見された六甲を代表する山荘を紹介。
- [709-1-VOR]
- [現代の建築保存論 / 鈴木博之著 王国社, 2001.](#) 
- 建築保存の論考を集める。建造物の保存と文化財保護法との関わり、近現代の歴史的建造物と都市との関わりなど。
- [521-6-SUZ]
- [建築遺産の保存その歴史と現在 / ユッカ・ヨキレット著；秋枝ユミイザベル訳【アルヒーフ】アルヒーフ, 2005.](#) 
- 歴史的建造物が、地域社会によってどのように扱われ、破壊や保存の経緯をたどってきたのか。ヨーロッパの建築遺産の史的変遷をたどる。
- [520-2-JOK]
- [産業化の歴史と景観 / 木元富夫著 晃洋書房, 2004.](#) 
- 欧米と日本の産業化のプロセスを概観し、歴史的景観としての産業遺産の文化的意義を考察。
- ※社会科学系図書館で所蔵 [BA69316832]
- [むかしの家に学ぶ：登録文化財からの発信 / 畑田耕一編著 大阪大学出版会, 2016.](#) 
- 登録文化財の建物をめぐり、地域振興の拠点としての役割を考えます。
- ※自然科学系図書館、総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB20733264]
- [モダニズムの記憶：建築でたどる北摂の近代 / 池田市立歴史民俗資料館編集 池田市立歴史民俗資料館, 2014.](#) 
- 阪神間モダニズムとは何か。池田市などの近代建築を紹介し、戦前の阪神間の社会文化的特徴を考えます。
- [521-6-MOD]

- [よみがえった茅葺きの家 / いるか設計集団編 建築ジャーナル, 2016.](#)
神戸市北区に残る江戸時代の大前家住宅を、移築再生した記録。茅葺き民家の登録有形文化財の移築例として貴重。

[521-86-IRU]
- [ル・コルビュジェは生きている : 保存、再生そして世界遺産へ / 南明日香著 王国社, 2011.](#)
世界遺産、コルビュジェの現代建築。建築を歴史の証人ととらえ、保存再生へと取り組むフランスの活動を紹介します。
※自然科学系図書館で所蔵 [BB06218552]
- [旧グッゲンハイム邸物語 : 未来に生きる建築と、小さな町の豊かな暮らし / 森本アリ著 ぴあ関西支社, 2017.](#)
神戸市塩屋に残る洋館、旧グッゲンハイム邸。建物の歴史、再生と、まちづくりの小さな記録。
※社会科学系図書館で所蔵 [BB23418434]
- [古建築を復元する : 過去と現在の架け橋 / 海野聡著 吉川弘文館, 2017.](#)
原始古代への想像をかきたてる復元建物。発掘遺構などの僅かな資料をつなぎ合わせ、古建築を復元する様子を紹介。

[521-8-UNN]
- [産業遺産とまちづくり / 矢作弘著 ; 末松誠写真 学芸出版社, 2004.](#)
産業遺産を実際に動態保存し、地域の資源としてまちづくりや観光に活かしている各地の試みを紹介しています。

[602-1-SAN]
- [産業遺産の記録 / J-heritage著 ; ワンダーJapan編 三オブックス, 2012.](#)
日本の近代化を支えて来た建造物が、次々と姿を消しています。まだ利用出来たのでは、との思いから、全国の産業遺産の魅力を紹介。


[602-1-SAN]
- [産業遺産を歩こう : 初心者のための産業考古学入門 / 平井東幸, 種田明, 堤一郎編著 東洋経済新報社, 2009.](#)
日本に残るさまざまな産業遺産を紹介。産業遺産を研究する「産業考古学」の入門書です。

[602-1-SAN]
- [重文民家と生きる / 全国重文民家の集い編著 学芸出版社, 2003.](#)
保存されている民家には、人々の長い暮らしが刻まれています。保存に悩みつつ民家に住まう人たちの物語。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA61974322]

- [証言・町並み保存 / 西村幸夫, 埜正浩編著 学芸出版社, 2007.](#)
町並み破壊の危機にあらがい、地域から新しい価値を生み出してきた人たちの声を記録する。
※自然科学系図書館、総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA83205434]
- [世界の民家園：移築保存型野外博物館のデザイン / 岸本章著 鹿島出版会, 2012.](#)
民家園で知られる、野外博物館。世界各地に取材し、博物館としての特徴をまとめています。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB09380604]
- [世界の野外博物館：環境との共生をめざして / 杉本尚次著 学芸出版社, 2000.](#)
急速に失われてゆく民家などを保存・公開する野外博物館。野外博物館の歩みと意義、取組みを解説します。
[069-0-SUG]
- [登録有形文化財：保存と活用からみえる新たな地域のすがた / 佐滝剛弘著 勁草書房, 2017.](#)
登録有形文化財の建造物等を網羅的に紹介。地域づくり、観光の資源として側面も押さえる。
[521-8-SAT]
- [都市遺産の保存研究 / 宮本雅明著 中央公論美術出版, 2012.](#)
建築史学の立場から、日本の都市遺産の保存について考察する著者の遺作。各種の都市遺産を歴史的、空間的、景観的特性を通して読み解きます。
※自然科学系図書館で所蔵 [BB10426972]
- [唐招提寺の歴史と景観に関する調査研究 / 奈良文化財研究所著作 奈良文化財研究所, 2006.](#)
奈良・唐招提寺の復元のため、寺院の歴史や景観がどう形成されてきたかを調査した報告書。
[521-81-TOU]
- [日本の産業遺産：産業考古学研究 / 山崎俊雄, 前田清志編 玉川大学出版部, 1986.](#)
産業遺産の調査研究と保存活動を行っている、産業考古学会の記念論文集。日本の産業考古学の発達をたどる。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BN00793122]
- [日本の産業遺産：産業考古学研究 / 山崎俊雄, 前田清志編 玉川大学出版部, 2000.](#)
産業革命以降の技術史を回顧しながら、日本の技術史と産業考古学の発達を考察している。1986年刊の新装版。
[502-1-NIH]

- [日本全国産業博物館めぐり：地域の感性を伝える場所 / 武田章弥編著 PHP研究所, 2008.](#) 
産業に関する資料を系統的に収集・保存・展示する博物館を取り上げ、産業史や企業史とともに紹介しています。
[081-0-PHP]
- [発掘遺構から読み解く古代建築 / 国立文化財機構奈良文化財研究所編集 クバプロ, 2016.](#) 
建築史学者が発掘現場へ入り込み、平城宮の朱雀門や大極殿の復元調査・検証の過程を解説。
※自然科学系図書館で所蔵 [BB21272677]
- [保存原論：日本の伝統建築を守る / 鈴木博之執筆 市ヶ谷出版社, 2013.](#) 
建築史家が、伝統的建造物の保存の記録をまとめる。建造物の現地保存という課題は、人と地域の歴史に関わっています。
[521-6-SUZ]
- [野外博物館の研究 / 落合知子著【改訂増補】雄山閣, 2014.](#) 
野外博物館について、遺跡、伝統的建造物群、景観地、近代遺産等を含めて捉える。地域歴史遺産の保存活用という面から、町おこしの接続も見通す。
[069-0-OTI]
- [歴史ある建物の活かし方：全国各地119の活用事例ガイド / 清水真一 \[ほか\] 編 学芸出版社, 1999.](#) 
建造物の活用例を継続、転用、大規模再開発、地域的活用などに分け、見開き一項目でコンパクトに紹介。
※自然科学系図書館で所蔵 [BA42857139]
- [歴史的町並み事典 / 観光資源保護財団編 柏書房, 1981.](#) 
城下町、宿場など、列島各地に残る歴史的町並みを修正し、解説を加えた事典です。
[291-019-R]

景観

- [「鞆の浦」の歴史保存とまちづくり：環境と記憶のローカル・ポリティクス / 森久聡著 新曜社, 2016.](#) 
道路建設と保存で揺れた鞆の浦。なぜ人々は鞆港を守る運動に尽力したのか。地域の歴史、社会、政治風土と人々の記憶から全容を解明。
※自然科学系図書館で所蔵 [BB21717773]

- [異人館復興：神戸市伝統的建造物修復記録 / 神戸市教育委員会編【住まいの図書館出版局】住まいの図書館出版局, 1998.](#) 
1995年の震災で大きな被害を受けた、神戸市北野の異人館群の復興過程を記録していません。
[523-164-IZI]
- [岩泉・海と小本：東日本大震災を経て、ふるさつを見る・知る・探るビジュアル史料 / 岩手県立大学総合政策学部編 イー・ピックス, 2014.](#) 
震災以前、2011年震災時、復興の日常風景を記録。岩泉の自然と社会について解説を加えた地誌。
[291-22-IWA]
- [英国ナショナル・トラスト = The National Trust / \[清水順子編\] アメニティ2000協会, 2016.](#) 
イギリスを代表する自然・文化保護の仕組みである、ナショナル・トラスト。トラスト活動の概要と保護区域を紹介。
[709-1-EIK]
- [エコミュージアム：21世紀の地域おこし / 小松光一編著 家ノ光協会, 1999.](#) 
エコミュージアムとは何か。発祥の地フランスの取り込みと、日本の事例を紹介。
※人間科学図書館で所蔵 [BA44072374]
- [エコミュージアム・理念と活動：世界と日本の最新事例集 / 日本エコミュージアム研究会編 牧野出版, 1997.](#) 
エコミュージアムの国内と海外それぞれの現状を、豊富な写真とデータで紹介。
[069-0-NIH]
- [エコミュージアムへの旅 / 大原一興著 鹿島出版会, 1999.](#) 
地域全体をまるごと博物館と見立てる、エコミュージアム。地域文化の保存活用手法を、詳しく紹介。
[069-0-OHA]
- [景観法と景観まちづくり / 日本建築学会編 学芸出版社, 2005.](#) 
自治体に取り組む景観を活かした「まちづくり」について、建築の視点から課題と事例をまとめる。
※自然科学系図書館で所蔵 [BA72093725]
- [景観用語事典 / 篠原修編【増補改訂版】彰国社, 2007.](#) 
景観とは何か。建築学等で一般的な概念をまとめ、文化的景観といった風景までを項目ごとに解説。
[518-8-KEI]

- [景観利益の保護法理と裁判 / 富井利安著 法律文化社, 2014.](#)
景観利益が司法で認められるまでの経緯と、内容を分析し、従来の制限的解釈を批判しながら展望を述べています。
※社会科学系図書館で所蔵 [BB17079673]
- [古代景観の復原 / 日下雅義著 中央公論社, 1991.](#)
大地に刻まれた古代人の多様な営みと知恵を掘り起こし、万葉集にうたわれた景観を復元しています。
[202-2-KUS]
- [ナショナル・トラストへの招待 / 四元忠博著 緑風出版, 2007.](#)
イギリスのナショナル・トラストを訪ね歩き、今日の農業危機や環境危機を乗り越え、自然と人間が一体となって成長する姿を紹介。
※社会科学系図書館で所蔵 [BA84140072]
- [真壁の町並み：伝統的建造物群保存対策調査報告書 / 河東義之, 藤川昌樹編集 桜川市教育委員会, 2006.](#)
茨城県真壁の町並み保存の報告書。真壁は2011年の東日本大震災で被災しました。
[521-8-MAK]
- [よみがえれ和歌の浦：景観保全訴訟全記録 / 和歌の浦景観保全訴訟の裁判記録を刊行する会編 東方出版, 1996.](#)
万葉集以来の美しい景勝地、和歌の浦の景観保全を求めた住民訴訟の全記録。歴史的景観権を問いかける本書は、市民目線の文化財保存の良き参考書です。
[519-816-YOM]
- [ランドスケープ制度論考：景観法、歴史まちづくり法、都市緑地法等都市におけるランドスケープ関連法制度に関する考察 / 舟引敏明著 デザインエッグ, 2015.](#)
都市の景観形成に関わる景観法、歴史まちづくり法、都市緑地法について説く。
[518-8-HUN]
- [異人館のあるまち神戸：北野・山本地区伝統的建造物群調査概要 / 奈良国立文化財研究所, 神戸市編 神戸市教育委員会, 1976.](#)
神戸の異人館は、伝統的建造物群保存地区という文化財でもあります。本書は選定に至る報告書の概要版です。
[521-6-IZI]

- [異人館のあるまち神戸：北野・山本地区伝統的建造物群調査報告 / 奈良国立文化財研究所, 神戸市教育委員会編 神戸市, 1982.](#) 
神戸の異人館は、伝統的建造物群保存地区という文化財でもあります。選定に至る基本事項をまとめた報告書。
[521-6-IZI]
- [異人館のある町並み北野・山本 / 神戸市教育委員会事務局社会教育部文化財課編 神戸市教育委員会事務局社会教育部文化財課, 2000.](#) 
神戸の異人館は港で働く外国人の町として形成、発達してきました。観光地で知られる町並みの保存活動をまとめたガイドブック。
[709-1-IZI]
- [古市古墳群をあるく：巨大古墳・全案内 / 久世仁士著 創元社, 2015.](#) 
「百舌鳥古墳群をあるく」の姉妹編。国内第2位の規模の誉田山古墳ほか、古市古墳群の全古墳を探訪し、河内飛鳥の遺跡を考えます。
[210-2-KUZ]
- [古地図で見る神戸：昔の風景と地名散歩 / 大国正美著 神戸新聞総合出版センター, 2013.](#) 
神戸の一昔前の風景を、古地図をもちいてたどる。神戸散策にも使える歴史ガイド。
[216-4-OKU]
- [江戸・明治の古地図からみた町と村 / 金田章裕著 敬文舎, 2017.](#) 
古地図の特徴を紐解きながら、古地図を使って、身近な町の過去を読み解くことの面白さを紹介しています。
※人間科学図書館で所蔵 [BB23118623]
- [今井の町並み / 渡辺定夫編著 同朋舎出版, 1994.](#) 
中世末の町並みが残る檀原市今井町。町並み保存の流れをふりかえり、広く日本の町並み保存について考えます。
[521-86-WAT]
- [重要文化的景観への道：エコ・サイトミュージアム田染荘 / 海老澤衷, 服部英雄, 飯沼賢司編 勉誠出版, 2012.](#) 
大分県豊後高田市の田染荘は、平安から中世の荘園です。田染荘の歴史的、文化的意義を多方面から探ります。
[291-95-ZYU]

- [震災後の地域文化と被災者の民俗誌：フィールド災害人文学の構築 / 高倉浩樹, 山口睦編 新泉社, 2018.](#) 
被災後の人びとと地域社会の変化を、民俗学・人類学・宗教学の立場で見つめ、生活文化が災害からの再生と減災に果たす役割を考察します。
[386-123-SIN]
- [水と世界遺産：景観・環境・暮らしをめぐる / 秋道智彌編 小学館, 2007.](#) 
水をキーワードに、世界遺産が抱える自然保護、観光、住民とのあつれきといった課題を取りあげ、世界遺産と環境や暮らしとの関わりを見つめます。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA81655837]
- [棚田の自然景観と文化景観 / 春山成子編著 農林統計協会, 2004.](#) 
文化的景観に選定される例も多い棚田。棚田を文化、自然の各方面から掘り下げ、守り伝える意義を追究。
[616-2-TAN]
- [棚田保全の歩み：文化的景観と棚田オーナー制度 / 中島峰広著 古今書院, 2015.](#) 
日本の文化的景観、棚田。農村部で存続の危機にある棚田の、保全の取り組みを検討しています。
※自然科学系図書館で所蔵 [BB18190927]
- [秩父地域まるごと博物館構想シンポジウム報告集 野外調査研究所, 2008.](#) 
埼玉県秩父地域でエコミュージアムの活動をしている関係者が集ったシンポジウムの記録です。
[601-134-TIT]
- [中国の歴史都市：これからの景観保存と町並みの再生へ / 大西國太郎, 朱自煊編；井上直美監訳 鹿島出版会, 2001.](#) 
日中共同調査により、中国の歴史都市における日常生活や、景観保存、町並みの修復を明らかにしています。
※社会科学系図書館で所蔵 [BA52550915]
- [町並み保存のネットワーク / 宮澤智士編；三沢博昭写真 第一法規出版, 1987.](#) 
町並み保存とは何か、どんなプロセスで、何が保存されているのか。多様な事例から、歴史的町並みについて考える。基本的事項が分かる。
[521-86-MAT]
- [都市の文化と景観 / 採掘・製造、流通・往来及び居住に関連する文化的景観の保護に関する調査研究会編 同成社, 2010.](#) 
文化的景観は近代化のなかで残されてきた景観の保護を目的としています。都市や産業遺産に関わる景観の調査報告。
[709-1-TOS]

- [日本の世界文化遺産を歩く / 藤本強著 同成社, 2010.](#)
日本の世界文化遺産11か所を訪れ、それぞれの歴史的意味、現在の景観等について紹介。

[709-1-HUZ]

- [日本の文化的景観：農林水産業に関連する文化的景観の保護に関する調査研究報告書 / 文化庁文化財部記念物課監修 同成社, 2005.](#)
近代以降著しく変化した農林水産業を中心に、文化的景観の現状をまとめた調査報告。

[709-1-NIH]

- [百舌鳥古墳群をあるく：巨大古墳・全案内 / 久世仁士著 創元社, 2014.](#)
古墳は人気の高い遺跡です。巨大な大山古墳をはじめ、百舌鳥古墳群の現存するすべての古墳を案内。

[210-2-KUZ]

- [文化遺産と生きる / 飯田卓編 臨川書店, 2017.](#)
文化遺産を支えるコミュニティに着目。無形遺産の担い手、遺産と住民の生活・観光化をめぐる課題を検討する。

[389-04-BUN]

- [文化的景観を評価する：世界遺産富山県五箇山合掌造り集落の事例 / 垣内恵美子著 水曜社, 2012.](#)
『文化財の価値を評価する』に続き、文化的景観について、観光や地域振興との関わりから評価方法を検討。


[709-1-KAK]

- [文明史のなかの文化遺産 / 飯田卓編 臨川書店, 2017.](#)
文化遺産を支えるコミュニティに着目。地域住民との関係性、変化する伝承、新旧コミュニティのあり方を検討する。

[389-04-BUN]

- [歴史のなかの上ヶ原：西宮市上ヶ原、古墳から震災まで / 中村直人著 関西学院大学出版会, 2016.](#)
西宮市の上ヶ原地区の歴史を、古墳時代から1995年までつづる。地域の変遷を描写しています。
※社会科学系図書館震災文庫で所蔵 [BB22461835]

- [歴史まちづくり法ハンドブック / 歴史まちづくり法研究会編集 ぎょうせい, 2009.](#)
歴史まちづくり、という「まちづくり」に歴史文化を取り込む制度。仕組みを紹介し、活用方法を紹介するハンドブック。
※自然科学系図書館で所蔵 [BA91844723]

- [歴史的景観とまちづくり / 西山卯三著 都市文化社, 1990.](#) 
歴史的景観を文化財と捉え、日本各地の歴史的町並みや建造物の保存活用例の成功・失敗例から、まちづくりのあり方を問いかけます。
※人間科学図書館で所蔵 [BN04927016]

活用


- [イスラエルの文化遺産マネジメント：遺跡の保護と活用 / 岡田真弓著 慶應義塾大学出版会, 2017.](#) 
イスラエル建国以来の遺跡保全を、制度と実態から丁寧に示す。文化遺産をめぐる価値観の衝突の歴史から学ぶ課題。
[709-285-OKA]
- [グローバル/ローカル：文化遺産 / 石澤良昭, 丸井雅子共編【Sophia University Press上智大学出版】Sophia University Press上智大学出版, 2010.](#) 
国際社会と国家、地域のはざまで、アンコール遺跡は何を訴えているのか。文化遺産保存とアイデンティティー、パブリックの問題等々を検討する。
※社会科学系図書館で所蔵 [BB02582134]
- [地域主権の国ドイツの文化政策：人格の自由な発展と地方創生のために / 藤野一夫, 秋野有紀, マティアス・テーオドア・フォークト編 美学出版, 2017.](#) 
地域主権に根ざした現代ドイツの文化政策を明らかにし、市民が芸術文化と社会とを結びつける活動を考察します。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB2471564X]
- [にぎわいを呼ぶイタリアのまちづくり：歴史的景観の再生と商業政策 / 宗田好史著 学芸出版社, 2000.](#) 
歴史的景観と都心コミュニティを守るための規制、施策がイタリアの観光・商業を再生させた様相から、都市計画の役割を問う。
※自然科学系図書館で所蔵 [BA45342496]
- [フランス都市文化政策の展開：市民と地域の文化による発展 / 長嶋由紀子著 美学出版, 2018.](#) 
20世紀後半のフランスにおける文化政策の展開を読み解く。文化をめぐる「共治」の成立と実践過程を探究する。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB26604468]
- [遺跡と観光 / 澤村明著 同成社, 2011.](#) 
遺跡が地域にもたらす様々な「効果」について経済学の立場から分析。文化遺産を観光や地域社会の持続的発展にどう活かすかを懇切に語る。
[709-0-SAW]

- [遺跡をさぐり、しらべ、いかす：奈文研六〇年の軌跡と展望 / 国立文化財機構奈良文化財研究所編 クバプロ, 2013.](#) 
奈良文化財研究所の60年の調査研究成果を紹介する講演会記録。遺跡を発掘して歴史を明らかにし、さらに後世へと伝える取り組み。
[202-5-KOK]
- [遺跡保存の事典 / 文化財保存全国協議会編 三省堂, 1990.](#) 
遺跡保存は日本でどのように取り組まれてきたのか。文化財保存運動についてまとめた初の事典。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BN04992506]
- [観光の地理学 = Geography of tourism / 立命館大学地理学教室編 文理閣, 2015.](#) 
観光の歴史的変遷、観光産業の分析、新たなツーリズムの批判的検討など、地理学からアプローチした観光研究。
[689-04-KAN]
- [観光資源としての博物館 / 中村浩, 青木豊編著 芙蓉書房出版, 2016.](#) 
博物館を地域振興や観光資源として活用するアイデアを、実例をもとに考察している。
[069-0-KAN]
- [景観形成と地域コミュニティ：地域資本を増やす景観政策 / 鳥越皓之, 家中茂, 藤村美穂著, 2009.](#) 
地域の暮らしと個性を生かした景観形成のありかたを、各地の実践例から考えます。
※社会科学系図書館で所蔵 [BA8909194X]
- [史跡整備と博物館 / 青木豊編 雄山閣, 2006.](#) 
幅広く史跡整備の実態を把握し、公開・活用手段としての博物館の必要性を説きます。
[709-1-SIS]
- [城と石垣：その保存と活用 / 峰岸純夫, 入間田宣夫編 高志書院, 2003.](#) 
中世史研究者であり、城郭保存にも長年取り組んできた2人が紹介する、城・石垣の活用と保存方法。
[521-82-SIR]
- [世界遺産と地域再生：問われるまちづくり / 毛利和雄著【改訂版】新泉社, 2011.](#) 
世界遺産は地域再生に役立つのか。日本国内の登録遺産などの現場を歩いて検討する。
[709-1-MOR]

- [世界遺産と地域再生：問われるまちづくり / 毛利和雄著 新泉社, 2008.](#) 
日本国内の登録遺産の現場を取材。こちらは初版だが、内容が地域再生に問いかける意味は変わらない。
※総合・国際文化学図書館、人間科学図書館で所蔵 [BA85952266]
- [世界遺産の地域価値創造戦略：地域デザインのコンテキスト転換 / 地域デザイン学会編集：原田保, 浅野清彦, 庄司真人編著 芙蓉書房出版, 2014.](#) 
世界遺産を地域振興に活用するための戦略やデザインを分析。地域ビジネスの視点で文化資源の活用を提言。
※社会科学系図書館で所蔵 [BB15819757]
- [生きている文化遺産と観光：住民によるリビングヘリテージの継承 / 藤木庸介編著 学芸出版社, 2010.](#) 
地域活性化の手段として重視される観光推進と、文化遺産・生活文化の保全との両立の方法を探っています。
[689-2-1KI]
- [地域おこしと文化財 / 笹本正治著 ほおずき書籍, 2004.](#) 
文化財を地域おこしにどう役立てるかを、著者のフィールドである長野の博物館活動、まちづくりの事例から考察。
[601-152-SAS]
- [地域コミュニティ再生とエコミュージアム / 深見聡著 青山社, 2007.](#) 
協働社会のまちづくりを、地域コミュニティ論やエコミュージアムという仕組みに立脚して論じています。
[601-1-HUK]
- [地域と文化財：ボランティア活動と文化財保護 / 渡邊明義編 勉誠出版, 2013.](#) 
地域の資料をめぐる、ボランティアによる保存活動の方法や具体例をまとめている。
[709-136-TIK]
- [地域を活かす遺跡と博物館：遺跡博物館のいま / 青木豊, 鷹野光行編 同成社, 2015.](#) 
各地の遺跡博物館の現状と課題を整理し、いま求められる遺跡の保存活用、教育効果について考察する。
[202-5-TIK]
- [地域文化財の保存・活用とコミュニティ：山梨県の擬洋風建築を中心に / 森屋雅幸著 岩田書院, 2018.](#) 
文化財の保存活用で重要なのは地域主義である。山梨から発信する遺産保全と地域住民の取り組みです。
[709-1-MOR]

- [都市保全計画：歴史・文化・自然を活かしたまちづくり / 西村幸夫著 東京大学出版会, 2004.](#) 
都市の保全を、歴史的環境の保全という観点から検討。歴史、制度、技法、実践例までを扱い、諸外国の事例も紹介。
※自然科学系図書館、総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA68780663]
- [奈良世界遺産と住民運動 / 石部正志, 杉田義, 浜田博生著 新日本出版社, 2000.](#) 
世界遺産である奈良は同時に、都市生活や観光開発の波にさらされています。奈良の自然と文化を守る活動と意義を考察。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA47481143]
- [風水害と観光客の増大による世界遺産の劣化と保全：紀伊山地の霊場と参詣道を事例として / 山本晴彦編著 農林統計出版, 2016.](#) 
世界遺産、紀伊山地の霊場と参詣道で生じている問題から出発し、文化財の損傷事例を丹念に取り上げる。指定後の保全の重要性がよく分かる。
[709-16-YAM]
- [文化・景観・ツーリズム：イタリア観光再生計画の現在 / ジョヴァンナ・メランドリ著；八木真紀子訳 シーライトパブリッシング, 2007.](#) 
プローディ政権で大臣として働いた筆者が、文化・景観・ツーリズムのイタリアンモデルを提示。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA85213921]
- [文化遺産と現代 / 土生田純之編, 2009.](#) 
保存活用と地域・市民社会の関係など、社会学、考古学、歴史学、建築学の立場から、文化遺産のあり方を検証する。
[709-1-BUN]
- [文化遺産と地域経済 / 澤村明著 同成社, 2010.](#) 
経済的視点から、博物館資料や文化財といった地域の文化遺産について考察し、活用のあり方を探ります。
[709-1-SAW]
- [文化遺産の保存活用とNPO：法政大学第27回多摩シンポジウム報告集 / 法政大学多摩シンポジウム実行委員会編 岩田書院, 2012.](#) 
文化財の保存活用で市民が活躍しています。NPOや地域との連携を考える上で参考になります。岩田書院ブックレット。
[709-1-BUN]

- [文化財の価値を評価する：景観・観光・まちづくり / 垣内恵美子編著；岩本博幸 \[ほか\] 著 水曜社, 2011.](#) 
文化財を継続的に維持、保存させるには。観光や地域振興との関わりから、文化財の価値を評価する方法を探る。
※総合・国際文化学図書館、人間科学図書館で所蔵 [BB07007235]
- [文化政策の展望 / 小林真理編 東京大学出版会, 2018.](#) 
文化遺産の地域での活用は、自治体による文化政策として取り組まれている。文化政策の課題と可能性を洗い出す。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB25992113]
- [未来の景を育てる挑戦：地域づくりと文化的景観の保全 / 日本建築学会編 技報堂出版, 2011.](#) 
文化的景観の保護と、風景の維持継承、住民生活のバランスをどうとるべきか。保全活動の課題と地域づくりへの論点をまとめています。
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [BB06718329]
- [臼杵の地方創生：歴史と文化のまち / 日廻文明, 井上直樹編著 関西学院大学出版会, 2017.](#) 
大分県臼杵における地方創生。文化遺産の活用例も紹介されています。
人文科学図書館開架室 [318-6-USU]
- [歴史遺産と環境 / 文化財保存修復学会編 クバプロ, 2002.](#) 
文化遺産、環境や景観を守っていくための方法を、観光・景観論・修復・保存科学・災害など、多様な観点から紹介。
[709-0-BUN]
- [歴史都市の破壊と保全・再生：世界のメトロポリスに見る景観保全のまちづくり / アンソニー・M・タン著；世界都市保全研究会訳, 2006.](#) 
ニューヨークで景観の保存に携わった著者が、世界を取材し、歴史の積み重ねられてきた都市文化財の破壊と再生を明らかにしています。
※自然科学系図書館、総合・国際文化学図書館で所蔵 [BA77670123]

- [初期農耕活動と近畿の弥生社会 = What was the early agricultural society in Kinki? / 森岡秀人, 古代学協会編 雄山閣, 2018.](#) 

人間社会の発達過程を、農耕という生業を軸に、近畿の事例から総括的にまとめた本。原始古代研究の現状がよく分かります。

[216-0-SYO]

- [よみがえる百舌鳥古墳群：失われた古墳群の実像に迫る / 宮川徭著 新泉社, 2018.](#) 

百舌鳥古墳群の遺跡としての価値、地域における位置づけを丁寧に紹介。世界遺産とも、陵墓とも異なる視座を、あなたに。

[216-303-MIY]